

登録コード	EKF19900	開講年度	2026					
授業科目	理科授業内容研究				担当教員	天谷 健一 他		
英文授業名	Study on Pedagogical Content (Science)				副担当	神原 浩・伊藤 冬樹・坂口 雅彦・井田 秀行・竹下 欣宏		
単位数	1	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	火曜・2時限		履修学年	
講義室			授業形態	演習	備考			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】			
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ							
	教育の専門職としての学識・技能				学校現場の理科授業実践を裏付ける理論的背景を踏まえた内容研究に基づき, 企画・実践事例並びに実際の理科授業実践を情報を活用して分析することを通して, 理科授業における授業内容のより良い吟味と改善に向けた実践的な指導力を習得できるようになる.			
(2)授業の概要	初等・中等教育の目的に絡めながら主として理科の授業内容に関する研究課題を, 教科の背景としての学問の専門性に基づいて設定する.							
(3)授業計画	第 1 回: 物理分野の授業内容に対する課題設定(1) 第 2 回: 物理分野の授業内容に対する課題設定(2) 第 3 回: 化学分野の授業内容に対する課題設定(1) 第 4 回: 化学分野の授業内容に対する課題設定(2) 第 5 回: 生物分野の授業内容に対する課題設定(1) 第 6 回: 生物分野の授業内容に対する課題設定(2) 第 7 回: 地学分野の授業内容に対する課題設定(レポート提出) 授業では学部科目「理科基礎」の参観する. 講義の内容や順番は変更することがある. 附属学校教員の場合遠隔等の授業になることがある.							
(4)成績評価の方法	・各回の発表内容(40%), 質疑応答・議論の内容(20%), およびレポート(40%)によって評価する. ・評価割合は, 若干の調整をおこなうことがある. ・得点率による評価基準は次のとおりとする. 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可.							
(5)履修上の注意	内容によって, 授業日程や開催場所を変更することがある. 履修に当たっては, 自らの研究課題を考慮し, 指導教員と相談の上で決定すること.							
(6)質問, 相談への対応および連絡先	オフィスアワー: 担当教員への質問・連絡方法は, 各自担当教員と相談して決定すること. なお, 別表「担当教員のオフィスアワー」を参照すること.							
(7)成績評価の基準	・「卓越している」 : (1)研究課題, (2)理論的枠組み, (3)授業内容と専門性, (4)研究の意義, のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうち3つ以上について発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている. ・「かなり上である」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうち2つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている. ・「やや上にある」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている. ・「水準にある」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できている.							
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること. また, 研究課題に関連した文献等を, 図書館等で検索・収集し, 研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり, 吟味したりすること. 【事後学習】質疑応答・討論を通じて生まれた課題について, 事後に各自で調べて再検討すること.							
【教科書】	必要に応じて提示する.							
【参考書】	必要に応じて提示する.							